

Tom's

VOL.12
SPRING 2010

私達のキャンパスライフ

富山大学のキャリア・就職支援

キャンパス大解剖!

研究者紹介

ハロー先輩

学内探訪/共通教育棟

Tom's薬箱/春は胃～腸し(良い調子)

Tom'sギャラリー

特集

先輩が
教えます!

充実の富大ライフ



先輩が
教えます!

充実の富大ライフ

五福・杉谷・高岡、3つのキャンパスがある富山大学。今回の特集は、それぞれのキャンパスから先輩が登場！授業の内容、サークル活動、大学生活を楽しむコツなど、「充実の富大ライフ」について紹介します。

私達のキャンパスライフ

勉学編

高校の授業とどう違うの？ 時間割の作り方って？

五福キャンパス
経済学部

自分でテーマを見つけて
研究を進めます。



おこち ちはる
小神 千春
平成19年度入学
富山県出身

経済学部では、自分が関心のあるテーマについてディベート(注:討論のこと)をしたり、自分で論文を書いてそれを発表したりする「ゼミナール」があります。

また研究成果を発表する場として県外の大学の学生と共に経済学部の学生が中心となってゼミナールの大会を毎年開催しています。他大学の学生や自分の所属するゼミ以外の学生と接することができます。いい経験になりました。



1年生の時には論文の要約などをする入門ゼミ、2年生の時には論文を読み、それに対して自分の意見を書くなど論文を書く練習をする基礎ゼミ、そして3年生の時からは、専門ゼミといって、自分が関心を持っているテーマの研究をやっている教授のゼミナールに所属します。私は雇用問題をテーマにしていますが、同じゼミの友達は環境問題、貧困問題、少子高齢化問題などテーマは様々です。ゼミは基本的に週1回で授業の時間割に組み込まれ、成績は学年末レポートなどによって決まり、卒業論文はゼミの教授からアドバイスをもらいながら作り上げていきます。

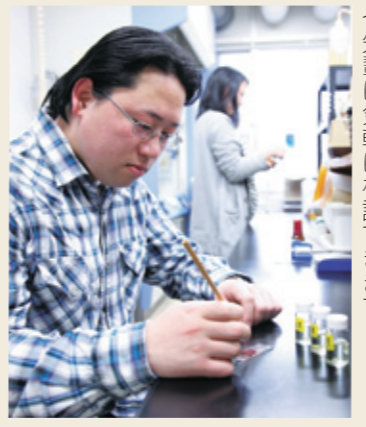
五福キャンパス
理学部

専門的な勉強は2年生から
本格的になります。



おおむら ともあき
大村 知章
平成19年度入学
静岡県出身

皆さんに大学で受ける授業などを簡単に説明します。1年生は、哲学や経済などの教養科目、外国語などの共通基礎科目、数学や物理学などの専門基礎科目といった様々な基礎知識を養うための授業があります。もし高校までの授業で理解できていないことがある人は、復習しておくことをお勧めします。時間割をつくる時には、授業内容を短く要約したシラバスがあるのでそれを活用すると便利です。僕の在籍する理学部生物学科の学生は、1年生で基礎生物学セミナーという授業があり、5〜6つのグループに別れて県内の動物園・植物園・水族館に行き、調査・研究をし、みんなで発表会をします。それぞれいろんなことを学ぶことができ、とても楽しい



皆さんに大学で受ける授業です。そして2年生〜3年生にかけては、専門的な講義と実験を通して各学科の専門知識と技術の習得を行います。この時期に4年生での研究に繋がる実験をいくつも行います。実験がうまくいかなかったり悩みがある時は、担当の教授や先輩に気軽に相談できます。

杉谷キャンパス
薬学部

5年生は病院と薬局での
実務実習があります。



こいらい あずさ
小祝 梓
平成18年度入学
栃木県出身

薬学部では1年生は一般教養の講義が中心ですが、他に薬品を扱った実験やマウス解剖を行います。2・3年生は専門科目の講義に切り替わってきて実験も多くなります。週のうち3日は午後の実験をやっています。4年生では、今までの専門科目の講義に加えて研究室での活動が本格的に始まります。薬学の研究には英語の論文を読むことは避けて通れず未だに

英語の論文には苦戦中です。薬学科の5年生には病院と薬局でそれぞれ2ヶ月以上の実務実習があります。その実習に臨むためには全国共通で行われる薬学共用試験に合格しないといけないので、4年生ではその試験勉強もありません。忙しかったです。共用試験は知識が評価されるCBTと薬剤師としての技能やコミュニケーション能力が評価されるOSCEの2つがあり、CBTでは今までに学んだすべての分野の力が試されるので範囲がとて広く、大学の研究活動が休みになってからは毎日図書館にもって勉強していましたね。OSCE対策では、授業が終わってから友だちと集まって薬局窓口での対応の練習をしたりしていました。初めてのことで戸惑うことも多かったです。今はこれから始まる実務実習を前にして、とてもワクワクしています。



高岡キャンパス
芸術文化学部

自分のやりたい事に合った、
時間割をつくれます。



あぜち たくみ
畦地 拓海
平成21年度入学
京都府出身

大学の授業は自分で時間割を考え、自分のやりたい事に合った授業の選択ができるので、楽しんで時間割を決めています。教員免許を取りたいので免許取得のために必要な授業が受けられるように時間割を組んだのでその点は少し苦労しました。

芸術文化学部の授業は、作品を描いて、作って、実習を通して学生同士で作品を見てお互いの意識を高め合えるので、授業の中に先生と学生という関係の他に、「学生と学生」というコミュニケーションがある点が大きな特徴だと思います。1年生で取れる授業の中にも実習系の授業はたくさんあります。木工の授業で木のおもちゃ、漆の授業では時絵のパネル、鑄造ではオリジナルのバックルを作ったり…。僕は漆の魅力にひかれて漆を専門にやっています。こう思っていますが、皆4年生になるまでに自分がどの分野をやっていくかを決めて卒業制作に取りかかっています。



もし個人的に作品制作をしたい！と思った時でも、素材のことだったり技術のことだったり、相談のつてくださる教授がたくさんいらっしゃいます。それも、ここ芸術文化学部ならではの強みだと思います。

自分の未来のために「キャリア」を考える 富山大学のキャリア・就職支援

自分に向いている職業はなんだろう？
就職活動ってどんなことをするの？
富山大学では、学生たちが自分らしく生きるため、卒業後の将来を視野に入れた
キャリア形成や就職支援へのさまざまなサポートを行っています。

人生の夏休み

皆さんは「キャリア」という言葉を聞いたことがありますか？これからの人生の中で、何度か考える時が必ず来ると思いますが、この言葉を頭の片隅に覚えておいてください。

さて「キャリア」とは何でしょう。皆さんは、キャリアウーマン、キャリアアップなどを想像するかもしれませんが、私たちは「キャリア」とは職務経歴と個人の生涯にわたる生き方（ライフスタイル）、つまり生き方そのものの「プロセス」と捉えています。つまりキャリアはアップもダウンもありませんし、人と比べる必要もありません。皆さんにはこれから「ゆっくり、あわてずに」キャリアについて考えてもらいたいと思います。

大学生活は、神様が与えてくれた「人生の夏休み」と私は思います。大学生生活には、人生の中で唯一束縛されない自由な時間があります。しかし自由という言葉の裏返しには、責任や自立、自ら選択することが求められますし、皆さんはこれから自分で自分の人生、生き方を決めなければならぬ時が必ず訪れます。

皆さんには、自分のキャリアを創るため、人生を豊かにするため、大学時代に以下のことを学んでもらいたいと思います。

大学生活の間に、「時間の制約を受けると出来ないこと」をせひ経験してください。長期旅行でもいいですし、たくさんの本を読むことも、趣味でもスポーツでも、皆さんがやりたいことをぜひ実行してみてください。また、自分が楽しいこと、嬉しいこと、好きなことを見つけ、自分がどんな時に喜怒哀楽を感じるかを肌身で感じてください。

「人生の夏休み」の経験がこれからの「キャリア」に活かせるかどうかは皆さんの行動によって決まります。皆さんが自分らしいキャリアを築けるよう、キャリアサポートセンターでは人生設計のサポートをしています。

荒井 明

キャリアサポートセンター特命准教授



模擬面接

先輩が面接官！



先輩学生が

就職活動のノウハウを伝授

～人文学部3年生が模擬面接～

就職の内定を受けた4年生がこれから就職活動が始める3年生に企業面接ながらに模擬面接を実施。就職活動の中で経験した面接を振り返り、自らが面接官となって3年生に質問します。3年生にとっては企業面接は未知の世界。面接を受けるまでにはどんな準備がいるのか、何を質問されるのかなど先輩に聞きたいことはたくさんあり、皆熱心です。

自分の志望した業種で見事内定を得た先輩のアドバイスは大変貴重で参考になります。先輩からは発言内容だけでなく、目線や表情、服装など細かいところまで教えてもらえました。富山大学では人文学部だけではなく、他の学部でも模擬面接や就職ガイダンスなどを開催して、学生の就職支援を行っています。

富大流 人生設計支援プログラム

学生達が卒業後スムーズに厳しい社会の中に入っていくためには、「働く」ということに対する考え方、自分は社会の中でどのような生き方をしたいのかについて時間をかけて考え、自分なりの答えを持つことが大切だろう。富山大学では「働くこと」を軸とした長期的な意識づくりが必要と考え、それにもとづくキャリア支援を実施。学生達の人生設計をサポートしている。

「富大流人生設計支援プログラム」は大学のインターンシップと富山県が全国に先駆けて実施している中学2年生の就業体験事業「14歳の挑戦」をつなげたキャリア支援事業。インターンシップを経験した大学生が県内企業で就業体験する中学2年生のサポート役として力を発揮する。かつて「14歳の挑戦」を経験した大学生は中学生へのサポートから自らの成長を顧みることとなり、中学2年生は大学生の姿から自分の将来像を考える機会となる。

企業と中学生のつなぎ役として「14歳の挑戦をサポート」

「14歳の挑戦」における支援プログラムを企画した野村浩貴さん（経済学部）、田中寛子さん（人間発達科学部）が担当したのは新聞社。「新聞社からは中学生に新聞を身近に感じてもらうようにしてほしい」という要望でしたので、実際に新聞に掲載される写真をクイズにして、どうしてその写真が使われたのかを考えてもらったりしました」と野村さん。企業への企画の提案を通じて、田中さんは、中学生が就業体験で何をしたいのか、私達は

何をしてあげられるのかを考える貴重な機会になりましたと活動を振り返る。

県内の銀行を担当した尾山瑛子さん（経済学部）は中学生達の不安感を解消するため、お客様へのPRポスター作成を提案。「この活動に参加することで私自身の成長につながったと思います」と語る。

学生達は中学生の指導をとおして企業側の考えや求めることを知り就職への意識も具体的に考えられるようになった。この就業体験の循環が富大流人生設計支援プログラムである。



富山大学
キャリアサポートセンター
富大流人生設計支援室

e-mail career@u-toyama.ac.jp

直通電話 076-445-6255

ホームページ

富山大学 学生支援GP

検索



(左から) 尾山瑛子さん、野村浩貴さん、荒井明特命准教授、田中寛子さん

高岡 キャンパス

キャンパスの中は
ギョーリョー!



作品制作に使う
画材店は、南園駅近く
の城公園近辺にあるよ!

芸術文化学部
渡辺 進

看護学科研究棟の
ラウンジからの
眺めは最高!

医学部
藤田 麻子

- 1 講義実習棟**
階段下から眺める建物は、外国のキャンパスみたい! 季節によって桜やつつじが彩ります。
- 2 薬用植物園**
水生植物区、樹木区、温室、パーム室などに約2000種の薬用植物を栽培。
- 3 福利厚生棟**
学生食堂、売店及び談話室、理容室・美容室があります。
- 4 民族薬物資料館**
世界の諸民族の伝統薬物や生薬標本などの研究資料など、保存資料数は日本一!
- 5 医薬学図書館**
蔵書は22万冊! 学生証があれば、1年中24時間利用可能です。

杉谷 キャンパス



自然がいっぱい。
環境抜群!

医学部
七原 佳洋

- 構内・大学周辺での**迷惑駐車禁止**
- ゴミのポイ捨てはやめましょう
- 自転車は駐輪場に停めましょう

杉谷キャンパスの案内役は山岳部の皆さんです。



3 売店
産学連携によるコラボ授業の成果のほか、工具や加工見本などもすべて可視化されています。



**4 学内は
学生作品でいっぱい!**
産学連携によるコラボ授業の成果のほか、工具や加工見本などもすべて可視化されています。



5 生協
生協は学生生活の心強い味方。アルバイト情報やアパート情報はここちらで!



1 学生食堂
通称「TSUMAMA-HALL」。学生が授業で作った作品なども多数展示しています。



2 エントランスホール
通称「TSUMAMA-HALL」。学生が授業で作った作品なども多数展示しています。

キャンパス大解剖!

人文学部 教授
立川 健治
たちかわ・けんじ

過去の時代に
共感する—
日本近代史



失われてしまった「当たり前」を 外国人の書物からひもとく

日本人はなぜちよんまげを切ったのか？ちよんまげが西洋人の目には野蠻に映り、諸外国と対等な付き合いをするのに不都合だと当時思ったからだ。「ちよんまげ、お歯黒もそうですが、当時は髪型や化粧、服装を変えないと文明社会の仲間入りができないと思っただけでしょうね。日本は明治維新によって近代化の一步を踏み出したといわれていますが、逆に言うところ、いろいろな可能性を捨ててきたのではないかと見方もできる」と立川教授。過去の日本人はどんなことを考え、生きていくために何を捨て去り、何を失ったのか。近代日本の足跡をたどる中で大きな手がかり

になるのが、19世紀半ば以降、日本を訪れた外国人たちが書物に遺した「外から見た日本」だ。「女性の素肌はきれいなのに、顔を白く塗りたくり（お化粧）、口の中はまるで洞窟のようだ（お歯黒）。マントヒビのような座り方（正座）。日本の女性は、家のなかで実権をもち教養も高い。」など、興味深い記述が数多くあり、立川教授は、彼らの書物をテキストに、私たちが失ってしまった当時の日本人にとって「当たり前」の近代日本の生活の一つずつ復元していく。その時代に身を置き、同じ視線に立ち、共感することが歴史を知るようになるのだ。

人文学は あらゆる学問の基礎科学

立川教授は2009年度JRA賞馬事文化賞を受賞。受賞作となった著書「競馬の社会史1 文明開化に馬券は舞う—日本競馬の誕生」は、幕末から鹿鳴館時代の日本の近代を、競馬を軸に振り返った歴史書である。「たまたま好きだった競馬をテーマにしたけれど、日本近代史の入口は牛鍋でも宗教でも何でもよくて、あらゆるテーマから研究できるのも、日本近代史の面白さなんです。人は過去を振り返り、先人達に学び、現代に生かしていく。そしてその時代の文化や人に共感することが、国内外の文化、哲学

を始め様々な領域の研究の土台になる。それもまた、日本近代史の魅力であり、人文学系の学問があらゆる学問の基礎科学といわれるゆえなんですよ」と語る。立川教授が所属する国際文化論コースでは、日本をはじめ諸外国の文化の研究ができる。「学生たちには、どの地域の文化を学ぶにしても必ず二つ以上の地域文化の勉強をしてもらっているし、それを教える教員が国際文化論コース、そして人文学部には揃っている。異なる文化の理解を深め、国際的な視野を備えた人材を育てていきたい」と学生たちへの教育にも熱意を持って取り組んでおられる。



立川教授が日本近代史の研究に使っている書物。外国人が遺した「当時の日本人にとっての当たり前」を知る貴重な資料である。

宇宙の彼方からやってくる 謎の電波を解き明かす

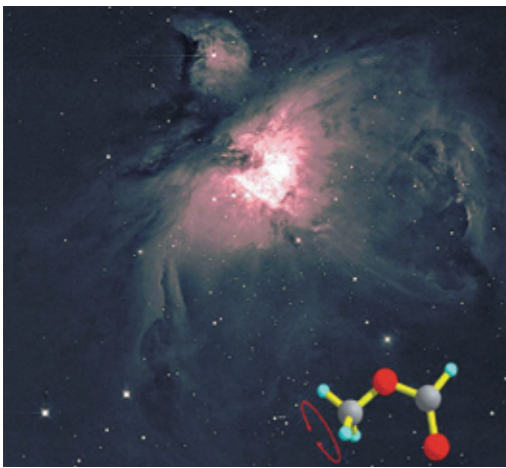
宇宙から地球に届く謎の電波を明らかにする研究が国内外で行われている。

2007年、小林准教授と国立天文台野辺山宇宙電波観測所の研究チームは、オリオン大星雲から発せられる正体不明の電波の一部が、「ねじれながらくる」と回転している特殊な状態“の有機分子「ギ酸メチル」であることを発表した。小林准教授は、宇宙空間で星が形成される初期段階に多く存在するとされる「ギ酸メチル」に着目。大星雲の観測データを比較検討したところ、ギ酸メチル分子が出す電波であることがわかったという。「実験室で得られた分子の周波数は、宇宙のどこにどのような分子があった、どのように変化しているかを解明する

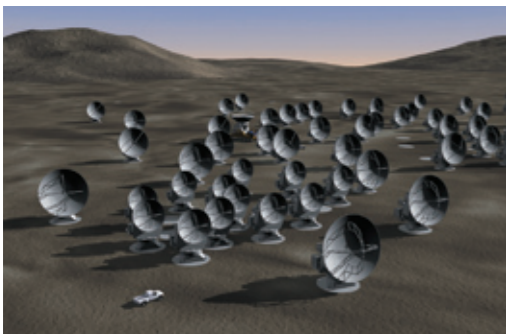
重要なツールになる」と小林准教授。これまでに世界で140種以上の分子が発見され、水素が圧倒的に多い宇宙にも様々な分子が存在していることが明らかになってきている。

パズルを解くような面白さ！

大学院修了後、岡崎国立共同研究機構（現自然科学研究機構）分子科学研究所に勤務し、そこで出会ったのが、マイクロ波を使った分子の周波数の研究。その面白さは「例えるなら壮大なパズル」だったという。「あつちにもこつちにもシグナルを出す分子をモデルに合わせて解析していくのですが、ピタッと合ったときはすごく達成感がありますね」と語る。小林准教授が今、取り組んでいるの



オリオン大星雲とギ酸メチル

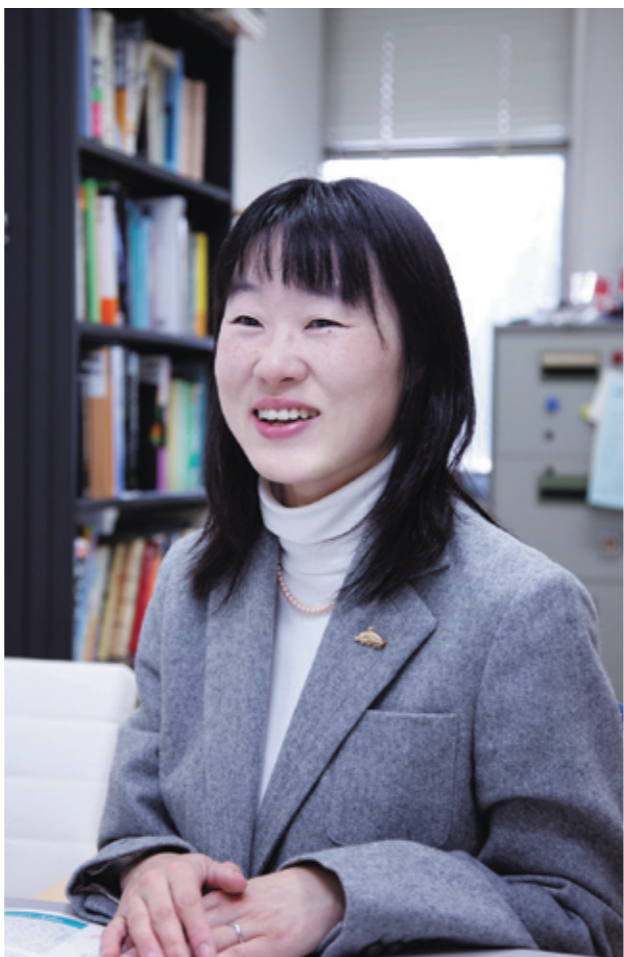


ALMA(アタカマ大型ミリ波サブミリ波干渉計)高精度パラボラアンテナ80台を並べて天体に向けてことで、最大で直径18.5kmの巨大な電波望遠鏡となる。大阪に落ちている1円玉が東京から見分けられるくらいの驚異的な解像力を持つ。

【写真提供/国立天文台】

は、マイクロ波周波数のデータベース化である。これまで周波数に関する論文は数多く発表されているが、検索が大変だったことから「もつと世界中の研究者が使用しやすいように」とデータや富士大学の蓄積データを始め、他の日本発のデータを収録したデータベースのオンライン公開をスタート。「海外のデータベースに比べると規模は小さいですが、どんどん充実させていきたい」と語る。

南米アンデス山中で建設中の電波望遠鏡「ALMA」が完成(2012年本格運用)すると、天文分野をサポートする電波物理学の役割はさらに大きくなる。もし、タンパク質の材料であるアミノ酸が見つかれば、生物の起源や地球外生物の存在にもつながり、マイクロ波で分子を探る電波物理学の可能性はさらにスケールアップしていくことになる。



大学院理工学研究部 准教授
小林 かおり
こばやし・かおり

マイクロ波で
分子を探る—
電波物理学で解く宇宙



学内探訪

新しくなった 共通教育棟

五福キャンパスの正門を通り、ユリノキ並木が始まるその右側の建物は、毎年春、新入生が多く集う共通教育棟です。

平成22年春、耐震・改修工事により内外装が新しくきれいに生まれ変わりました。建物の上層部には大空・世界を飛翔するイメージを表した大学のシンボルマークを掲げ、大講義室のある棟にはバリアフリー対策としてエレベーターやスロープを整備しました。屋根・外壁の断熱ペアガラス、高効率の照明器具等の導入により、省エネ化も図っています。

この共通教育棟では、教養科目や外国語、保健体育などの共通基礎科目などの授業が行われ、学生たちが幅広い教養と総合的な判断力、豊かな人間性を養う場となっています。各教室は視聴覚機器等が充実しており、パソコンを利用した授業も可能です。休日には学外の利用も多く、学会や各種国家試験などの会場としても使われています。

また、富山大学には、双方向遠隔授業システムが導入され、学内の他のキャンパスはもとより、北陸3県の国立大学のキャンパスをつないでの遠隔授業も行われています。

大学の教養教育を支える拠点として、新入生が大学生活のスタートを切る場として、大いに活用していただきたいものです。

TOM'S 薬箱

春は胃～腸し (良い調子)

待ち望んだ春がやってきました。今年の冬は雪が多かったので、暖くなるのを首を長くして待っていた方も多かったのではないのでしょうか。春といえば、お花見や新歓コンパの季節。つい食べ過ぎたり飲み過ぎたりして、「あれ？どうも胃腸の調子が変だな。」なんてことはありませんか。

胃もたれや胸焼けなどの症状は胃や腸などの消化管の動きが悪くなると現れます。消化管の動きは自律神経の1つである副交感神経によって調節されています。副交感神経が興奮するとアセチルコリンと呼ばれる物質が放出されて、消化管運動が活発になります。逆にアセチルコリンの量が少なくなると、消化管運動が鈍くなります。このアセチルコリンの放出量の調節にはドパミンとセロトニンという物質が関与しています(図1)。副交感神経終末で、ドパミンがその受容体(D2受容体)と結合するとアセチルコリンの放出が抑制されますが、一方、セロトニンが受容体(5-HT4受容体)に結合するとアセチルコリンの放出が促進されます。つまり、ドパミンと受容体との結合を阻害するか、セロトニンと受容体との結合を促進すると、アセチル

コリンの量が増え、消化管の運動が活発になるというわけです。消化管の運動を活発にする薬(図2)として、古くからメトクロプラミドが使われてきました。メトクロプラミドは、胃や腸に存在するD2受容体と結合して、ドパミンと受容体の結合を阻害することで消化管運動を促進します(*)。しかし、意識障害やけいれんなどの副作用が見られ、この副作用は脳内にあるD2受容体を遮断することで発生していると推察されました。この問題を解決するために開発されたのが、モサプリドという薬です。モサプリドはメトクロプラミドと異なり、D2受容体とは結合せず、5-HT4受容体に特異的に結合して、アセチルコリンの放出を促進します。このことから副作用が劇的に軽減されて画期的新薬となりました。モサプリドは現在、慢性胃炎にともなう胃もたれなどの症状の改善薬として病院などで処方されています。

モサプリドは、消化器疾患の治療だけでなく、検査の時にも使われています。大腸のX線検査の際、検査前に便の排泄を促す薬で大腸の中をきれいにしますが、この薬が腸内に残らないようにモサプリドを用いて除去しているのです。

春は環境が変わるときでもあります。新入生として新社会人として、また新たな部署への異動など、慣れない環境でストレスを感じる時もあると思いますが、胃腸の健康を保って、素敵な春をエンジョイして下さい。モサプリドのお世話にならないよう、くれぐれもお気をつけ下さい。

富山大学薬学部薬学科3年 長倉美由紀

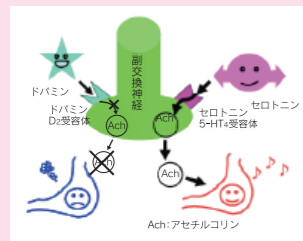


図1 ドパミンとセロトニンの働き

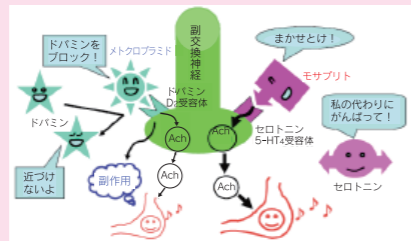
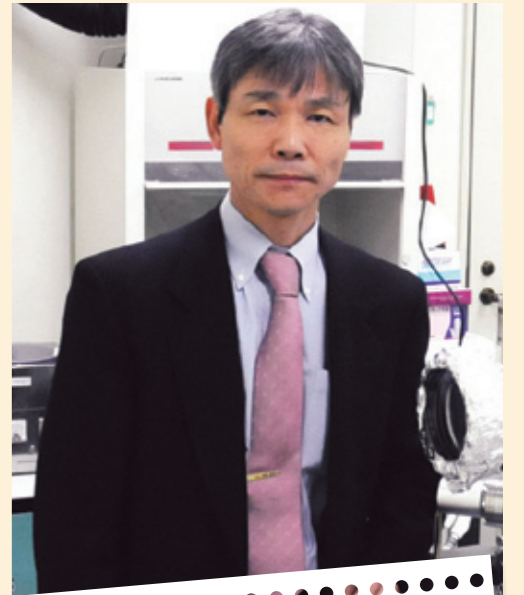


図2 消化管運動促進薬

この説明文は、平成21年度富山大学薬学部3年次総合薬学演習において、調査・発表された内容を一部抜粋し要約したものです。
※現在は、メトクロプラミドは5-HT4受容体の刺激作用も有していると考えられています。



花村 克悟 はなむら かつのり

東京工業大学 炭素循環エネルギー
研究センター 教授
昭和57年3月 工学部卒業

Hello

ハロー 先輩

新薬の研究開発を通じて 社会に貢献したい

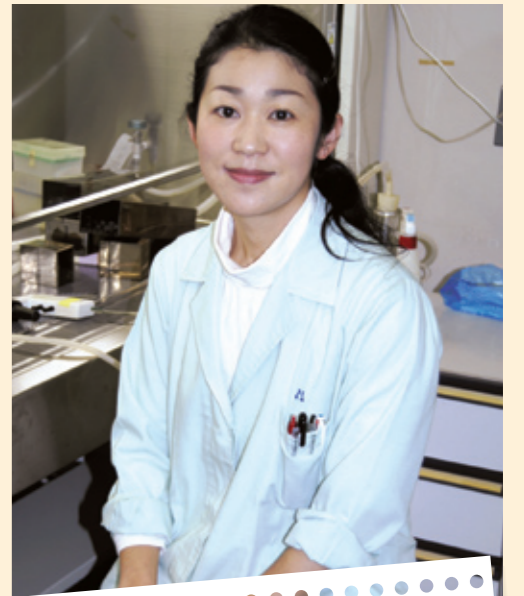
私が薬学部への進学を決めたのは、薬がいかにして病気を治すのかを知りたいと思ったからです。当時は、新薬の研究開発に関わろうという気持ちはまだなく、卒業後は薬剤師として働くことと考えていました。

大学で生体の炎症反応について調べていくうちに研究が面白くなり、もう少し研究を続けたいとの気持ちから大学院に進学しました。研究室では文献の読み方、実験手技の習得、データの解釈等、研究の基本を学び、実験が上手いかならない時期は忍耐も鍛えられ、新薬の研究開発に対する興味は徐々に膨らんでいきました。

大学院修了後は製薬会社を志望して富山化学工業に就職しました。

富山化学工業は、抗感染症、中枢・循環器、抗炎症の3つの研究領域に重点を置いており、私は抗炎症の薬理部門に所属して入社当初より抗リウマチ薬の探索及び開発研究に携わっています。新薬の研究開発は、チームで試験を実施し、合成・薬理・動態・分析・製剤とさまざまな部署との連携により進めていくので人と人のコミュニケーションが重要です。

これまで順調なことばかりではありませんでしたが、岐路に立たされた時、いつも周囲の方々や家族に支えられてきました。現在もたくさんの方にお世話になっています。感謝の気持ちを忘れずに、新薬の研究開発を通じて社会に貢献していきたいです。



山本 真理 やまもと まり

富山化学工業株式会社 総合研究所
主任研究員
平成4年3月 大学院薬学研究科修了

Tom's Gallery

トムズ ギャラリー

富山大学芸術文化学部 第1回卒業制作展
「GEIBUN1」(芸術文化学部)



03



01



04



02



05

01「GEIBUN1」初日のオープニングの様子。企画展示室1は、絵画、彫刻、工芸作品等を展示。02企画展示室2は、プロダクト、パッケージ、グラフィック、都市計画、建築作品等を展示。03企画展示室3は、屋外の光を採り入れ、家具など生活日用品等を展示。04卒業論文は、同一のファイルで並べられている。05地下ギャラリーでは、光量を落とし、メディア・アート作品等を展示。本展は117名の約120作品が一同に展示された。

(芸術文化学部
講師 渡辺雅志)

富山大学芸術文化学部が誕生してからはじめての卒業展「GEIBUN1」が2010年3月9日〜24日まで、高岡市美術館にて開催されました。高岡市、高岡市美術館との協働のもとに実行委員会を組織し、公立美術館の企画展として開催される卒業展は、全国でも例のない試みです。高岡市民の想いが結実して実現した本展は、これからの芸術文化の在り方を強く意識するのに十分な、そして新しい伝統として息づいていく礎となることと確信しています。

編集後記

トムズPress第12号(春号)をお届けします。咲き誇る桜、木々の若葉、春は気分がウキウキしてきます。大学にとっても春は、キャンパスが新入生の若さと熱気に包まれて活気に満ちる季節です。

本号は、そのような季節にふさわしく、先輩学生による大学紹介を特集しました。

高校のときの勉強とは異なり、大学では自学・自習が大変重要になってきます。また、大学は、社会に出る前の最終の勉強機関です。大学生活ではそのことを意識して、専門の勉強だけでなく、社会人として生きていくために必要な様々なことも身につけていってほしいと思います。富山大学は、いつでも皆さんを応援しています。(金森 寛)

トムズプレスサブタスクチーム

金森 寛	大学院理工学研究部教授
坂田 博美	経済学部准教授
北島 勲	大学院医学薬学研究部教授
矢倉 隆之	大学院医学薬学研究部准教授
貴志 雅樹	芸術文化学部教授

- 本誌は、富山大学構内などで無料配布しています。郵送を希望される方は、本誌綴じ込みはがきにてお申し込みください。
- 本誌は、年4回、3ヶ月毎に発行します。ご意見、ご要望を是非お聞かせください。



発行日 平成22年3月31日
発行 国立大学法人 富山大学
問合せ先 富山大学総務部広報グループ
〒930-8555 富山市五福3190 TEL076-445-6027 FAX076-445-6063
E-mail kouhou@u-toyama.ac.jp

Tom's Press はインターネットでもご覧いただけます。 <http://www.u-toyama.ac.jp/>